

健脚を競う

第7回さんむロードレース大会

11月25日、蓮沼海浜公園をメイン会場に行われた第7回さんむロードレース大会。当日は晴天に恵まれ、沿道からは大勢の方が声援を送る中、下は小学1年生から上は81歳まで総勢2,271人が参加し、記録を狙う人、楽しく走る人など思い思いにレースを満喫していました。

- ①声援をうけながら楽しそうに走る花婿&花嫁さん。
- ②『ママ ガンバレ♡』手作りうちわの応援に応え笑顔でゴール。
- ③ゲストランナー 山口衛里さんを囲む各部門の優勝者。
- ④完走賞のごぼうとほうれん草を持って。



地域の力を結集して

第7回山武市産業まつり

第7回山武市産業まつりが11月23日にさんぶの森交流センターあららぎ館広場で開催されました。当日は、雨にもかかわらず、多くの方が来場。

農産物の即売や各地域の団体や企業の一押しの特産品などが各ブースいっぱいに並べられ、来場者の目や舌を楽しませていました。

ステージでは、山武市のマスコットキャラクター「SUNムシくん」の着ぐるみがお披露目され、応募者の受賞式が行われました。

また、ダンスパフォーマンスや、和太鼓の演奏などが行われ、会場を沸かしていました。



◀ 農産物の即売、PRコーナーに多くの市民が集まりました。

市のマスコットキャラクター「SUNムシくん」の応募者受賞式。



子ども達との思い出



のをありがとう」「子どもたちと触れ合えて楽しかった」と感激していました。

白幡シルバー友愛会会長の柳瀬さんは、「今日はとても楽しかった。高齢の方もいるので難しい面があるがもっと参加してもらいたい。」と話していました。(12月6日)

白幡シルバー友愛会が、地域が安心安全・思いやり、そして幸せを感じあえるようにと、子どもたちと触れ合う思い出会を成東老人福祉センターで開催しました。

鳴浜幼稚園の園児が招待され、お昼を食べたり、ゲームをしたりするなどお年寄りの方とふれあい、楽しいひと時を過ごしました。園児から手づくりの首飾りがプレゼントされると、参加者は「かわいいも

カメラマンSUNムシくんが撮る！

写

真

館



市を巡って見つけたホットな話題を
カメラで追ってみました。

Camera Report

カメラリポート



家庭教育力 … 子育ては「苗半作」

第7回 山武市生涯学習振興大会

12月8日、社会教育委員会主催の「生涯学習大会」が成東文化会館のざくプラザで開催され、オープニングでは和太鼓とお囃子の演奏が披露されました。記念講演では元教師で教育評論家の親野智可等氏が、子どもの将来を決めるのは「親力」と語り、家庭教育の重要性を説いていました。参加者からは「話の内容が具体的でわかり易かった」と好評でした。

講演に熱の入る親野先生。▶



▲藤井先生のお話を熱心に聴く1年生。

藤井輝明 (ふじいてるあき)

昭和32年東京都生まれ。中央大学、千葉県立衛生短期大学、筑波大学大学院、名古屋大学大学院を経て。現在、保健科学研究所所長・中央大学保健体育研究所・東京大学大学院医学系客員研究員・日本健康医学会学術評議員など多数

いじめを考える

山武南中学校全校道徳

山武南中学校では昨年度から「全校道徳」に取り組み、今年は『いじめについて考えよう』をテーマに全校で3回の授業を実施しました。4回目(11月30日)には、講師に藤井輝明先生を迎え、午前中には1・2年生を対象にした授業を、午後からは全校生徒・保護者・近隣の小学校の先生なども参加して、講演会を開催しました。

藤井先生は、2歳の頃に発病した「海綿状血管腫」のため、顔に大きなあざができ、その容貌のせいで過酷ないじめにあった経験をお持ちです。先生は「腫れている顔は、オリジナルの顔。この顔に誇りと自信を持っている。なぜなら、この顔のおかげでたくさんの出会いと経験があったから」と話します。また、「隣の人と比べ同じ顔の人は誰ひとりいない。顔だけではなく、もっているもの全てが個性でありチャームポイント。自分と違うからといっていじめるのは間違っている。いじめはいじめる方が100%悪い」と話していました。

先生の前向きな生き方は、ご両親の存在がとても大きく影響。特に母親が「グレート」であったということです。母親が言い続けた「あざもみんなお母さんから生まれたもの。何があってもお父さんとお母さんはあなたの味方」という言葉に支えられたそうです。さらに、「ここまで来られたのは、『周りの友だちの支え』があったから。友だちはとても大切だ」と生徒たちに語りかけた藤井先生。講演後は、全校生徒で「小さな勇気」を合唱し、講演会を終了しました。

第2回山武キコリ育成講座



ボランティア活動として森林整備作業などに参加時、安全に行うためのチェーンソー作業従事者資格取得講座が山武地域で開催。参加者19人は、講義と実技を受け知識を習得しました。(12月1日・2日)

幼児と楽しむ三味線、和太鼓コンサート



幼稚園、子ども園、保育所の子どもたちが、日本の伝統楽器の三味線や和太鼓などに触れ合い楽しむコンサートを開催。「今日、見たこと、聞いたことを忘れないでね」の問いかけに元気に答えていました。(11月29日)

100人目の赤ちゃん誕生!



平成23年度から産婦人科を開設したさんむ医療センターで、100人目の赤ちゃんが元気いっばいの産声を響かせ誕生。木下医師、桜井助産師から記念の花籠が石井さん親子(東金市)に贈られました。(11月29日)